

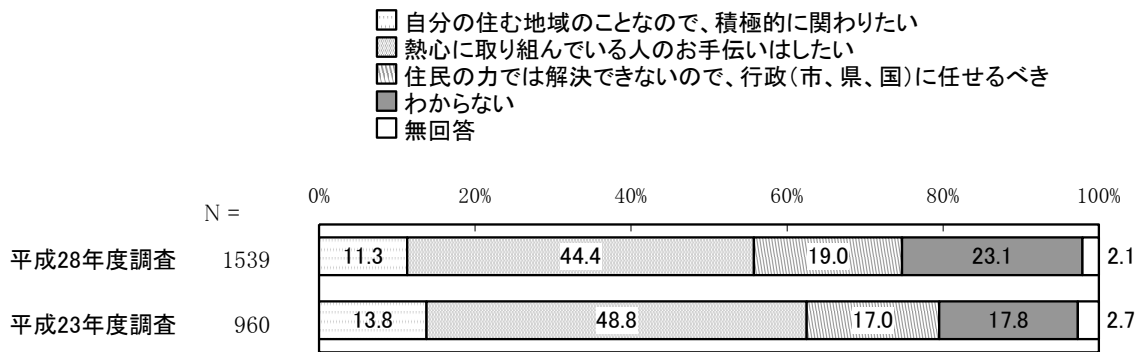
地域福祉計画「成果指標」

地域福祉に関するアンケート調査結果

指標① 問6 自分たちの生活に関わる地域の問題に、あなた自身はどの程度関わ
べきだと思いますか。(○は1つ)

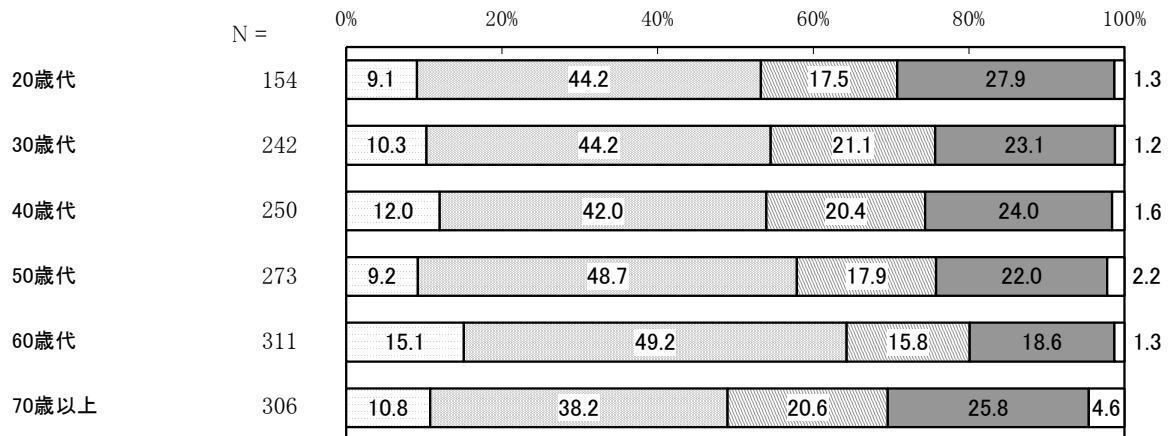
「熱心に取り組んでいる人のお手伝いはしたい」の割合が44.4%と最も高く、次いで「わからない」の割合が23.1%、「住民の力では解決できないので、行政（市、県、国）に任せるべき」の割合が19.0%となっています。

平成23年度調査と比較すると、大きな差異はみられません。



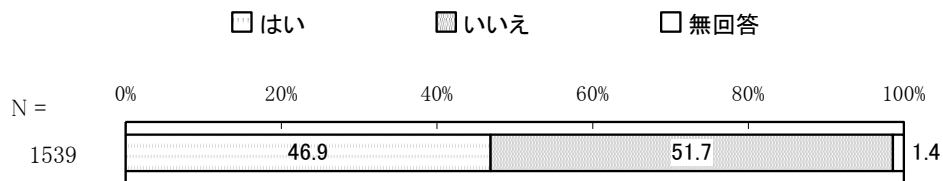
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、50歳代、60歳代で「熱心に取り組んでいる人のお手伝いはしたい」の割合が高く、約5割となっています。



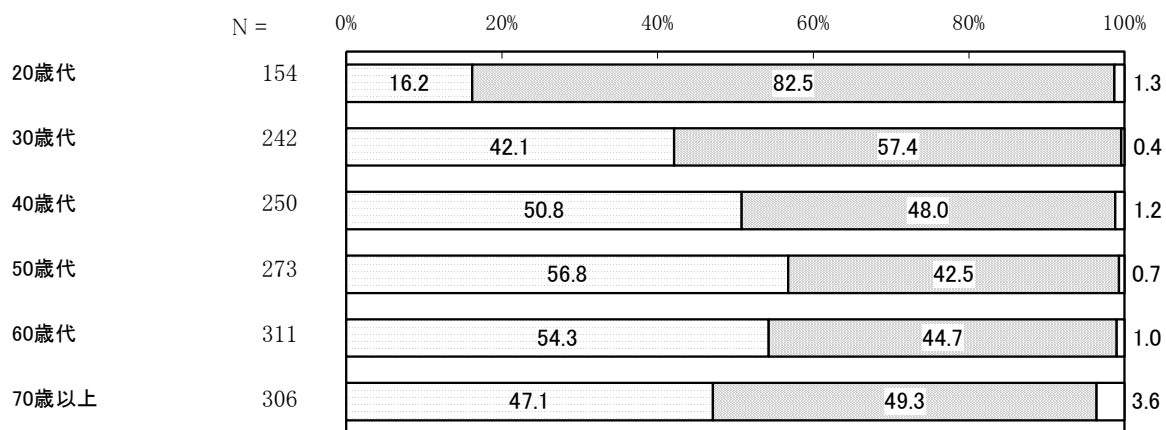
指標② 問4 地域で活動を行うさまざまな組織・団体に加入していますか。(〇は1つ)

「はい」の割合が46.9%、「いいえ」の割合が51.7%となっています。



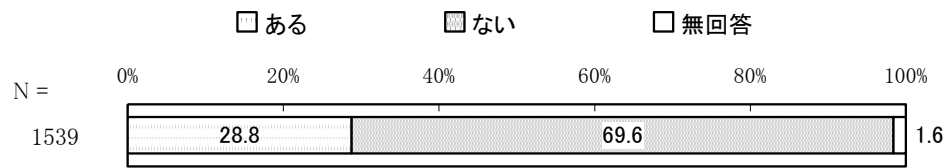
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、20歳代で「はい」の割合が低く、2割未満となっています。また、50歳代で「はい」の割合が高く、約6割となっています。



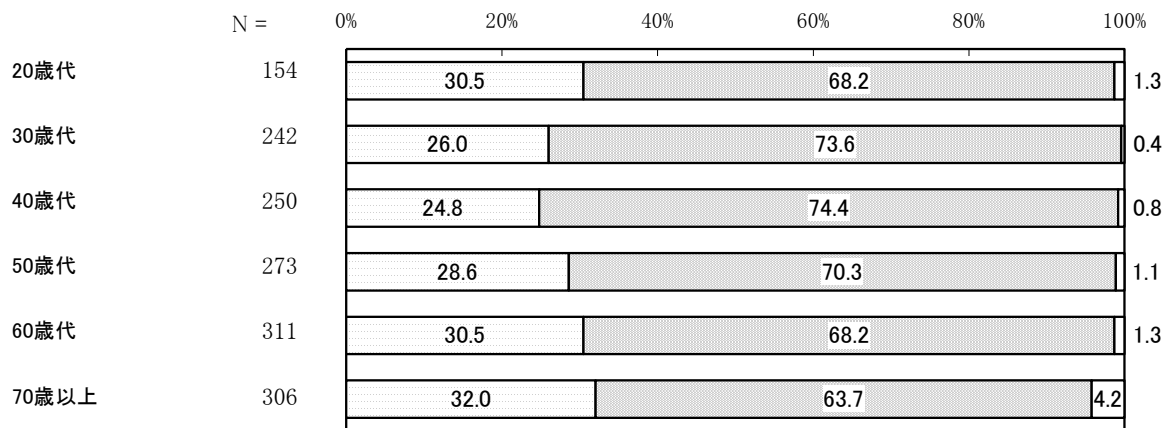
指標③ 問10 あなたは、ボランティア活動をしたことがありますか。(○は1つ)

「ある」の割合が28.8%、「ない」の割合が69.6%となっています。



【年齢別】

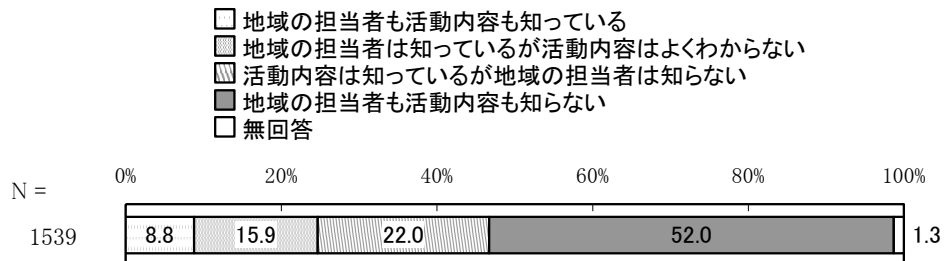
年齢別でみると、他の年齢に比べ、40歳代で「ある」の割合が低くなっています。



指標④ 問 15 あなたがお住まいの地域の民生委員・児童委員をご存知ですか。

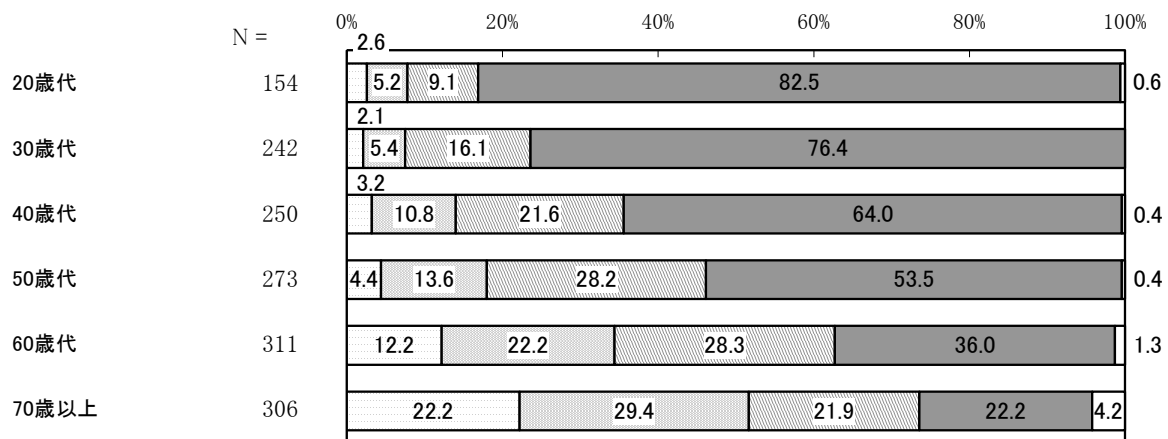
(○は1つ)

「地域の担当者も活動内容も知らない」の割合が52.0%と最も高く、次いで「活動内容は知っているが地域の担当者は知らない」の割合が22.0%、「地域の担当者は知っているが活動内容はよくわからない」の割合が15.9%となっています。



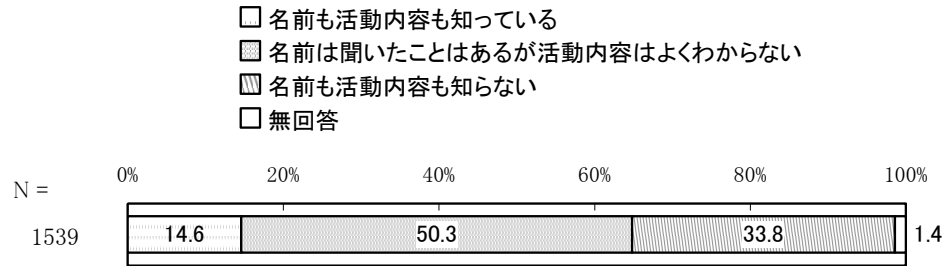
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「地域の担当者も活動内容も知らない」の割合が高くなっており、20歳代で8割を超えています。



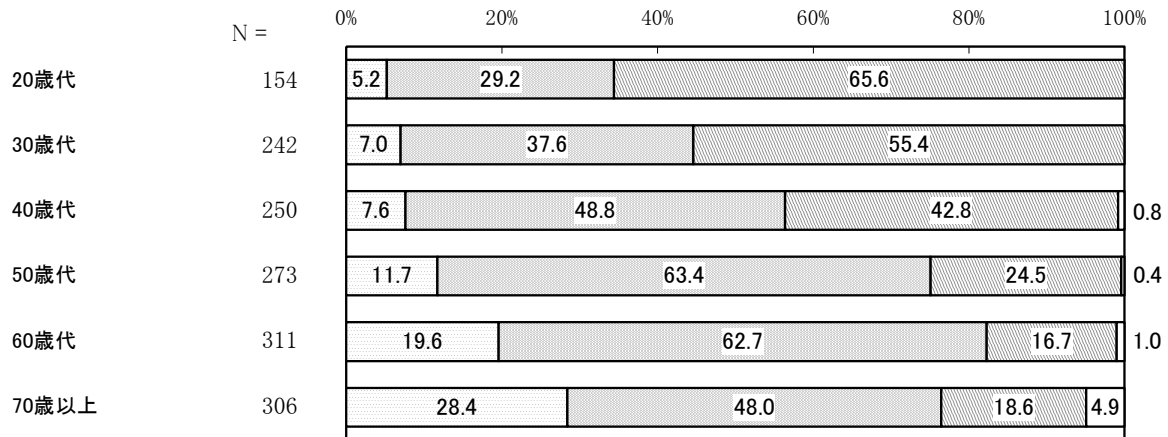
指標⑤ 問 14 印西市社会福祉協議会や支部社会福祉協議会をご存知ですか。(〇は1つ)

「名前は聞いたことはあるが活動内容はよくわからない」の割合が50.3%と最も高く、次いで「名前も活動内容も知らない」の割合が33.8%、「名前も活動内容も知っている」の割合が14.6%となっています。



【年齢別】

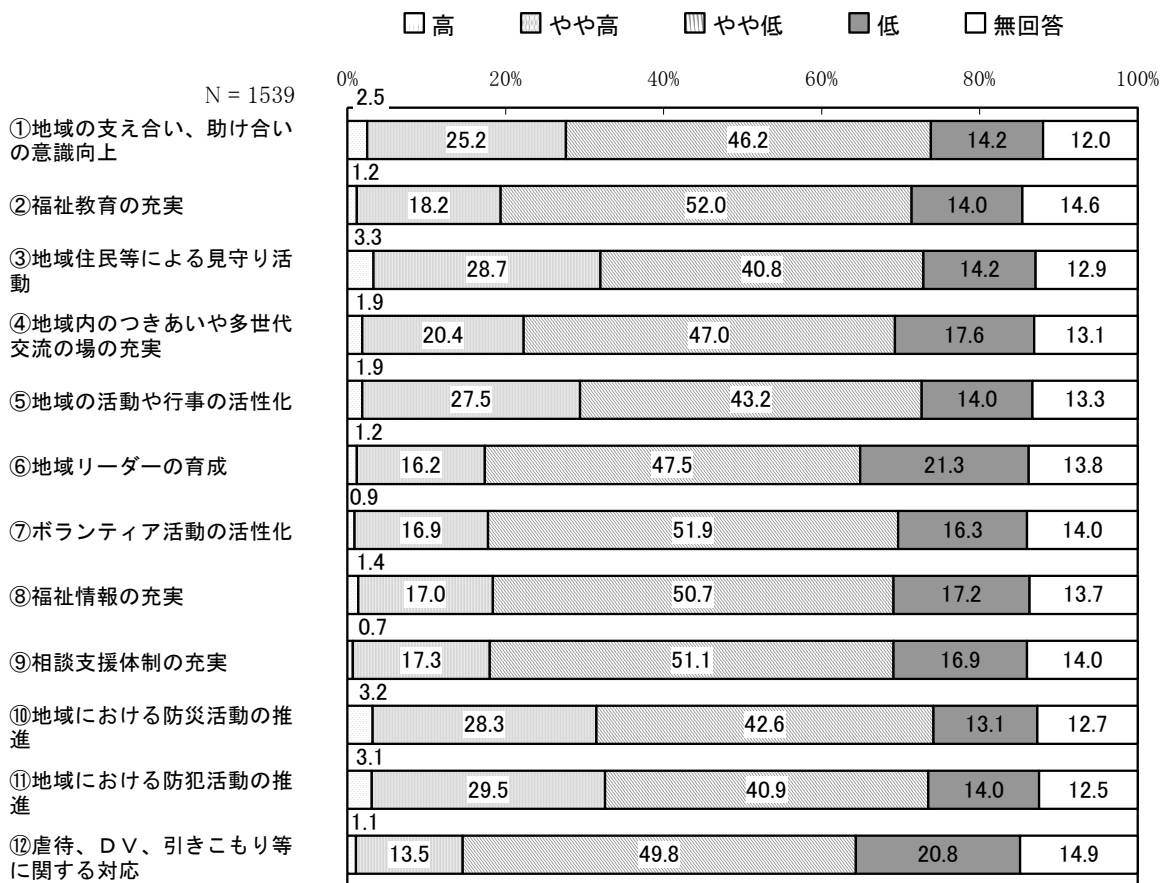
年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「名前も活動内容も知っている」の割合が高く、「名前も活動内容も知らない」の割合が低くなる傾向がみられます。



指標⑥・⑦ 問 21 あなたは、次の①～⑫の項目について、どの程度重要だと思いますか。また、どの程度満足されていますか。あなた自身のお考えにもっともあてはまる箇所を、重要度と満足度からそれぞれ1つずつ選んでください。

【満足度】

①地域の支え合い、助け合いの意識向上、③地域住民等による見守り活動、⑤地域の活動や行事の活性化、⑩地域における防災活動の推進、⑪地域における防犯活動の推進で「高」と「やや高」をあわせた“満足度が高い”の割合が高く、約3割となっています。また、⑫虐待、DV、引きこもり等に関する対応で“満足度が高い”の割合が低く、約1割半ばとなっています。



4 災害について

指標⑧ 問 16 大地震などの災害等に備えて日ごろの生活の中で心がけたり、実施していることはありますか。(該当するものすべてに○)

「家族間での連絡方法を確認しておくこと」の割合が 44.2%と最も高く、次いで「避難場所や避難ルートを確認しておくこと」の割合が 37.7%、「家族全員の避難方法を確認しておくこと」の割合が 34.3%となっています。

